

19.10

三月廿八日	若松市	七百名	閣下政治打放
三月三十日	板	六百名	合
四月五日	門	八百名	合

以上の如く演説會開催度數四十回、賛助延人員三万一千五百人にして、候補者改選者演説會二十四にして、筑豊炭田に於ては殆ど無産団林主催の演説會として、我党の演説會が其の先駆にして、筑豊十数町の坑天諸君に我党の主義主張を宣傳し、啓蒙し得た事は大なる収穫と謂い得るであらう。

■ 八幡市會の報告

吾党民衆黨は去る大正十四年五月の八幡市會議員改選期に四名の候補者を擁立し、地方政治戦線に初めて活躍するに至り、然るに當選階級の熱烈なる支持と援助とに依りて四名の候補者全部が最高點を以て當選するに至り、結成後曰猶淺く吾党としては偉大なる成功を認め、大平を夢みつゝありし既成政黨を一新し、戦慄せしめた。

爾來歳を悦ぶ事も三ヶ月……私利私欲の外何ものをも有せざる彼等既成政黨間には在して、當選階級の利害の爲に勇敢に戦い来た……これと少數なる吾等の主張は、婪貪横暴極まり、彼等既成政黨の爲め多くの場合蹂躪されたが、之に屈する事なく我々我黨の選出議員は最も勇敢に大膽に卒直に無産階級の要求を八幡市會に反映せしむべく努力した。

吾等は今大正十五年二月の吾黨大會以後に於ける八幡市會にて我等無産階級の利害休戚に関する重要なるものは極簡單にその概略を述べらるであらう。

No. 11

大正十五年四月八日八幡市會報告